



朝日

大田区立松仙小学校
令和4年 11月 30日(水)
裏研究推進だより 第12号

体育話題提供授業 協議会記録

成果

課題&疑問

導入

◎補助運動

- ・音楽を効果的に使い、楽しみながら活動の切り替えをスムーズに行っていた。

◎教師の言葉がけ

- ・教師の肯定的な言葉がけが良かった。
- ・教師がポイントを押さえながら褒めることによって、子供が楽しみながら動くことができていた。

◎ゲーム、作戦・練習タイム

- ・練習カードをもとに、話し合う様子があった。
- ・セーフティゾーンが設定されていたので安心感があった。

◎まとめ⇒振り返りの流れ

- ・振り返りの時間がたっぷりあった。
- ・教師が本時の授業を振り返り、子供が学習カードを書いているときに机間指導していた。

◎練習カード

- ・守りの練習は難しいのでは。得点をとるための願いや練習に絞ってもよかった。

◎ゲーム

- ・得点をもっとたくさん入るように工夫してもよかったのでは。
- ・みんなが活躍できるようにするには、どんなルールの工夫ができるのか。
- ・チーム内の声掛けが少なかった。

◎振り返り・学習カード

- ・「チームの願い」や「課題」と個人のめあてのずれがあった。
- ・録画した映像は、どの場面で生かされるのか。

展開

終末

<授業者自評>

- ・練習カードが活用でき、どんな課題に向かって練習するのは明確になった。
- ・チームのめあてと個人のめあてのずれがあり、難しさを感じた。

☆「勉強になった！」ポイント☆

ゲーム領域の特性のひとつ、「勝ちたい！」と子供たちが思うかどうか。苦手な児童ほど、その気持ちが薄いということを教師が意識して、競争にこだわって競い合うことの楽しさをどう味わわせるかがポイントだと感じました。勝ちたい気持ちが、「じゃあどうする？」につながり、チームや個人の課題やめあてがより明確になるのだなと勉強になりました。

指導・講評

<ここをおさえて！ゲーム・ボール領域の基礎知識>

- ・「競い合うことの楽しさ」を味わわせる！
…勝ちたいと思わせる、勝ちにこだわらせることが重要。
- ・苦手な児童を見捨てない、放っておかない！
…研究の進め方においても、児童の様子を内側から見るようにしよう。
- ・感覚づくりの運動は意識的に、意図的に！
…バスケットボールであれば、ボールが弾む感覚をつかませる。
補助運動はゲーム感覚で楽しく！音楽も効果的！
- ・成功体験を味わわせよう！
…たくさんシュートを打つ、点を決めることが楽しい！たくさん点が入る
楽しさを味わえるよう工夫を。

よかったところ

☆感覚作りの運動

補助運動では音楽をかけながら楽しく行っていた。楽しみながら、ゲーム感覚で行える工夫がよかった。他の単元でも大切にしたいところである。

☆指導案の完成度

評価の部分が網掛けになっており、2年間を見通して達成することをねらっていてよい。あまり多くをねらいすぎると、やることが多く達成できずに終わってしまう危険が。

今後に向けて（Fさんの様子から）

★話し合いを生かしきれない授業設計

話し合いのための作戦カードなど、なかなか生かしきれずチームでの話し合いがまとまらなかった。授業設計を見直し、運動の環境なども整えるとよりよかったのでは。

キラリと光る付箋

<児童の声かけ・アドバイス>

- ・○赤のKさんの声掛け「ドリブルしていいんだよ！」「ナイスカット」
△赤のその他の児童⇒立って見ている。
- ・止まっているときは話せるけれど、プレー中が静かだった。

<振り返り>

- ・男子は次回「守りをがんばりたい」⇔女子はパスやドリブルをがんばりたい。振り返りにズレのあるチームも。
- ・チームの課題を明らかにして、次回どのような練習をしていくか、個人はどうなっていくかとのつながりが見られた。

<動画>

- ・撮った動画は、どう生かされるか知りたい。

準備運動や補助運動での雰囲気づくりは高学年でも大切で、効果的なのだと感じました。また、6年生では今までの積み重ねも大切で、系統的な指導を意識的に行うことができると良いかと思いました。そして先生の素敵かつ確かな声掛けが、とても勉強になりました。